



第73回
日本小児保健協会
学術集会

第73回 日本小児保健協会学術集会 シンポジウム

会期 2026年6月19日(金)~21日(日)
会場 大阪市中央公会堂
〒530-0005 大阪市淀川区西長崎1丁目1番27号



ヒューマンエラーからヒューマンセンタードへ Bio-Psycho-Socialモデルによる傷害予防の統合アプローチ

日時 2026年6月21日(日) 10:00~11:40

会場 大阪市中央公会堂 3F 小集会室 (第3会場)

趣旨

子どもの不慮の事故の予防のために、これまで、数多くの対策が行われてきた結果、この20年で死亡事故は70%以上も減ってきており、成果を挙げてきました。しかし、いまなお死亡原因の第2位であり、また、死亡に至らない傷害は現在も多発しており、大きな社会問題です。その一因は、生活実態に合わない画一的な対策や、保護者などのケアラーだけに負担が集中している社会環境にあると考えられます。今回のシンポジウムでは、現代のケアラーのリアルな生活者像を理解し、傷害予防を押し付けるのではなく、社会で支え合う環境づくりについて議論する場を企画しました。情報発信をされているメディア、新たな人材育成プログラムを作成しているNPO、新たな表示制度で製品改善を進める行政、この分野に関わる最新のテクノロジーの研究者をシンポジストに迎えて、新たな傷害予防の方向性について議論したいと考えています。



進行 西田佳史
東京科学大学
工学院機械系 教授

メディア

赤ママWEB

家庭をつなく安心できる楽しい育児



赤ちゃん和妈妈社編集部
菊池 香織・佐藤 加世子

ミレニアル世代のママ・パパ
のリアル像を知る

行政



+ あんしん

経済産業省 大臣官房産業保安・
安全グループ 製品安全課

誤使用・不注意のせいにしない
製品改善の推進に向けて
(+あんしん表示制度の創設)

NPO



NPO法人 セーフキッズジャパン
理事長 大野 美喜子

行動変容の社会化のためのセ
ーフキッズマイスター

技術



産業技術総合研究所
北村 光司

ヒューマンセンタード傷害予
防を支える最新技術

アカデミア



日本小児科学会
山中龍宏

傷害予防40年の歩みと今後
の課題